



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ

コード番号 2792

URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 西名 孝 (TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の連結業績(平成26年6月1日~平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	13,844	8.9	186		130	82.0	48	
26年5月期第1四半期	15,192	5.4	782	4.7	720	4.4	366	7.0

(注) 包括利益 27年5月期第1四半期 85百万円(%) 26年5月期第1四半期 377百万円(19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	1.72	
26年5月期第1四半期	13.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第1四半期	36,613	29,935	81.8	1,073.70
26年5月期	36,826	30,004	81.5	1,075.98

(参考) 自己資本 27年5月期第1四半期 29,935百万円 26年5月期 30,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期		10.00		10.00	20.00
27年5月期					
27年5月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の連結業績予想(平成26年6月1日~平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,600	2.8	1,300	0.5	1,400	18.2	600	38.0	21.50
通期	62,500	4.0	3,000	29.6	3,100	45.0	1,300	133.7	46.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、 除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	27,900,000株	26年5月期	27,900,000株
期末自己株式数	27年5月期1Q	19,682株	26年5月期	14,072株
期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	27,883,095株	26年5月期1Q	27,899,928株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動が顕れたほか、2度にわたる台風の上陸など、天候不順による下押し圧力も加わり、住宅投資や個人消費が冷え込みました。

当社グループが属するレディースカジュアル専門店業界においても、消費税引き上げ後の消費者の生活防衛意識の高まりに加え、度重なる集中豪雨など異常気象の影響を受け、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、各ブランドのターゲットを再設定し、ブランドコンセプトを明確にすることにより幅広い客層に対応した商品構成と売場の実現を目指してまいりました。その他ファッション雑誌とのコラボレーション企画、自社運営の通販サイトと実店舗の連動販促企画、その他各種キャンペーン等、さまざまな販促活動に取り組み、販売力の強化を推し進めてまいりました。

また、仕入コストの上昇に対応するため、ミャンマー自社工場における生産増強を含め、生産国のアセアンシフトを進めてまいりました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第1四半期連結会計期間末における国内店舗数は843店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、不採算店舗の退店を進めた結果、当第1四半期連結会計期間末における直営店舗数は568店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は138億44百万円(前年同期比8.9%減)、営業損失は1億86百万円(前年同期は営業利益7億82百万円)、経常利益は1億30百万円(前年同期比82.0%減)、四半期純損失は48百万円(前年同期は四半期純利益3億66百万円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は106億34百万円(前年同期比13.1%減)、営業損失は2億97百万円(前年同期は営業利益6億53百万円)となりました。個人消費の冷え込みや不安定な天候の影響等により、売上高が前年を割り込み、減益となりました。

<中国>

中国における売上高は32億10百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は72百万円(前年同期比42.7%減)となりました。売上高は増加したものの、販売費及び一般管理費が増加し、減益となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおります。当第1四半期連結累計期間における営業利益は702千円(前年同期は営業損失36百万円)となりました。

(注) 好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用してあります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2億12百万円減少して366億13百万円となりました。これは、現金及び預金が増加し、売掛金、たな卸資産が減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億43百万円減少して66億78百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が増加し、退職給付に係る負債が減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて69百万円減少して299億35百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成26年7月8日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が464,636千円減少し、利益剰余金が300,155千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,839,377	6,886,596
売掛金	4,184,448	3,601,556
たな卸資産	7,694,827	7,062,133
未収還付法人税等	56,114	55,288
その他	756,458	971,129
貸倒引当金	1,480	684
流動資産合計	18,529,745	18,576,019
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,428,939	6,153,997
その他	3,105,110	3,147,517
有形固定資産合計	9,534,049	9,301,514
無形固定資産		
その他	212,408	354,504
無形固定資産合計	212,408	354,504
投資その他の資産		
差入保証金	7,637,995	7,619,393
その他	936,683	783,318
貸倒引当金	24,663	21,076
投資その他の資産合計	8,550,015	8,381,634
固定資産合計	18,296,473	18,037,653
資産合計	36,826,219	36,613,673
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,139,941	1,565,890
短期借入金	216,970	319,000
未払法人税等	192,706	68,846
ポイント引当金	3,805	3,510
資産除去債務	8,142	18,014
その他	3,071,818	2,978,236
流動負債合計	4,633,384	4,953,498
固定負債		
退職給付に係る負債	1,374,967	926,631
資産除去債務	807,026	795,527
その他	5,941	2,642
固定負債合計	2,187,934	1,724,800
負債合計	6,821,319	6,678,299

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	21,827,648	21,800,807
自己株式	13,902	19,577
株主資本合計	29,322,426	29,289,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,117	6,267
繰延ヘッジ損益	54,254	67,910
為替換算調整勘定	739,969	578,690
退職給付に係る調整累計額	9,357	7,403
その他の包括利益累計額合計	682,474	645,465
純資産合計	30,004,900	29,935,374
負債純資産合計	36,826,219	36,613,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	15,192,666	13,844,305
売上原価	6,299,722	5,853,960
売上総利益	8,892,943	7,990,344
販売費及び一般管理費	8,110,623	8,176,522
営業利益又は営業損失()	782,319	186,177
営業外収益		
受取利息	1,161	635
受取配当金	133	156
為替差益	79,637	43,873
受取地代家賃	8,580	9,266
受取補償金	13,960	
補助金収入	43,230	51,571
デリバティブ評価益		211,621
貸倒引当金戻入額	5,109	4,382
雑収入	8,090	6,294
営業外収益合計	159,905	327,801
営業外費用		
支払利息	5,010	4,464
デリバティブ評価損	213,136	
雑損失	3,236	7,084
営業外費用合計	221,384	11,548
経常利益	720,841	130,074
特別利益		
補助金収入	33,790	
特別利益合計	33,790	
特別損失		
固定資産除却損	51,472	69,074
減損損失	24,614	43,810
その他	7,840	345
特別損失合計	83,928	113,229
税金等調整前四半期純利益	670,703	16,845
法人税、住民税及び事業税	104,118	82,214
法人税等調整額	199,661	17,231
法人税等合計	303,779	64,982
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失()	366,923	48,137
四半期純利益又は四半期純損失()	366,923	48,137

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失()	366,923	48,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	606	150
繰延ヘッジ損益	122,864	122,164
為替換算調整勘定	133,323	161,278
退職給付に係る調整額		1,954
その他の包括利益合計	11,065	37,009
四半期包括利益	377,988	85,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377,988	85,146
少数株主に係る四半期包括利益		

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,241,281	2,951,384	15,192,666		15,192,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高				43,473	43,473
計	12,241,281	2,951,384	15,192,666	43,473	15,236,140
セグメント利益	653,839	126,854	780,693	36,217	744,476

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	780,693
「その他」の区分の利益	36,217
セグメント間取引消去	37,843
四半期連結損益計算書の営業利益	782,319

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ18,071千円、6,542千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において24,614千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,634,292	3,210,012	13,844,305		13,844,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高				72,768	72,768
計	10,634,292	3,210,012	13,844,305	72,768	13,917,074
セグメント利益	297,024	72,725	224,299	702	223,596

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	224,299
「その他」の区分の利益	702
セグメント間取引消去	37,419
四半期連結損益計算書の営業利益	186,177

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ30,398千円、13,411千円の減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において43,810千円であります。